

1 教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

2 評価の観点と内容

評価項目	知識・技能	・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものにしたりしながら、言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
評価方法	授業への取り組み、作文・レポート・鑑賞文等の作品、定期テスト、単元テスト、小テスト(漢字・文法)	

3 学習の手引き

使用教材	教科書:国語・書写(光村図書) 副教材:国語の学習、漢字の学習、学習の達成
学校では…	<ol style="list-style-type: none"> ① 授業の準備をしっかりとしましょう。(忘れ物がないように。) ② 仲間の意見をよく聞き、新しい気づきがあったり、考えが深まる1時間にしましょう。 ③ ノートは「授業内容」だけでなく、「予習・復習」でも活用しましょう。ノートは必ず、縦書きにしましょう。 ④ 漢字テストは1週間に1回行います。出題範囲の漢字をしっかりと確認しておきましょう。 ⑤ 単元テストや定期テストにあわせて、ワークなどを用いて学びの調整を行いましょ。
家庭では…	<ol style="list-style-type: none"> ① 語句・意味調べ、漢字の読み書き、本読みなどを行いましょ。 ② ワークやスタディサプリなどを活用し、教材の理解を進めましょ。

4 年間計画

月	教材名	目標・評価の観点など
4月	世界はうつくしいと	【知・技】詩に用いられている語句や表現に着目して考えている。 【態】進んで語感を磨き、友達の考えや今までの学習を生かして詩の解釈や朗読をしようとしている。
4月	握手	【知・技】抽象的な概念を表す語句などを用いて、登場人物の人物像を表している。 【思・判・表】「現在」と「回想」の部分を読み分け、物語の展開のしかたの効果について考えている。文章の内容に沿って登場人物の生き方や価値観を読み取り、自分の知識や経験と比較しながら考えている。 【態】物語の展開のしかたを粘り強く捉え、今までの学習を生かして読み深めた感想を交流しようとしている。
4月	漢字に親しもう1	【知・技】文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
4月	意見を聞き、適切さを判断する	【知・技】根拠としている情報について、事実関係や裏づけなどに注意して聞いている。 【思・判・表】多様な考えをもつ聞き手の存在を想定しながら、意見と根拠、理由づけの適切さを判断し、改善策を検討している。 【態】聞き取った内容や意見と根拠の適切さを進んで評価し、今までの学習を生かして助言を考えようとしている。
4月	文法への扉1「走って」いるのは誰？文法1文法を生かす	【知・技】既習の文法事項が、日常の会話や文章を見直したり文の表現効果を考えたりする際の判断基準になることを理解している。 【態】助詞や助動詞の働きなどを進んで振り返り、今までの学習を生かして設問に取り組もうとしている。
5月	説得力のある構成を考えよう スピーチで心を動かす	【知・技】情報の発信者・出典、調査方法、情報の数などが適切を確認して、必要な情報を集めている。 【思・判・表】興味を引く導入や明確な主張、聞き手が納得できる根拠や提案の設定、適切な説明の順序などを考えて、話を構成している。聞き手の興味を引く問いかけや強調表現を取り入れたり、聞き手の反応に応じて話の内容を補足したりするなど、工夫して話している。 【態】相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、学習の見通しをもって自分の考えを伝えようとしている。
5月	言葉1 相手や場に応じた言葉遣	【知・技】敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、実際の使用場面を想定しながら、適切な使い方を考えている。 【態】相手や場に応じた言葉遣いや表現の選び方について進んで理解し、今までの学習を生かして練習問題に取り組もうとしている。
5月	学んで時に之を習ふ —「論語」から 漢文の訓読	【知・技】教材文を参考に歴史的背景を押さえ、教材の書き下し文や訓読文、現代語訳を読むことを通して、「論語」の世界に親しんでいる。日常生活を振り返り、孔子の言葉が当てはまる体験を伝え合っている。 【思・判・表】人間の生き方に関する孔子の考え方を、自分の生き方や生活と関連づけて考えている。 【態】人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見をもち、今までの学習を生かして考えを伝え合おうとしている。
5月	作られた「物語」を超えて	【知・技】ゴリラの事例と人間社会の話に着目して、「具体と抽象」の関係を理解している。 【思・判・表】論説の特性を踏まえ、「具体と抽象」の関係に着目して、論理の展開のしかたを図式化するなどして捉えている。 【態】進んで文章の構成や論理の展開を捉え、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。
6月	思考のレッスン 具体化・抽象化	【知・技】具体と抽象の関係にある論理の展開のしかたや、具体と抽象の程度を捉えながら読んだり書いたりしている。 【態】具体と抽象の関係について積極的に理解し、学習した内容を生かして問題に取り組もうとしている。
6月	論理の展開を意識して書こう グラフを基に小論文を書く	【知・技】資料から読み取った事実の中から、自分の意見を支える適切な根拠を選んでいる。 【思・判・表】課題に沿って資料を読み解き、読み取った事実と、自分の解釈や考えを整理して書き出している。説得力のある文章にするために、論理の展開や意見と根拠、その結び付きを考えながら、文章の構成を工夫している。 【態】論理の展開や意見と根拠、それらを結び付ける「理由づけ」などを粘り強く考え、学習課題に沿って説得力のある小論文を書こうとしている。
6月	漢字1 熟語の読み方 漢字に親しもう2	【知・技】漢字の音訓や、熟語における音訓の組み合わせに注意して、漢字を読んだり書いたりしている。 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
6月	俳句の可能性 【書く】俳句の創作教室 俳句を味わう	【知・技】俳句で使われている語句の意味を理解したり、豊かなイメージを喚起する効果的な語句に着目したりしている。 【思・判・表】語句の選び方や表現のしかたに着目して俳句を読み、筆者の評価のしかたを捉えている。自分の思いや考えがわかりやすく伝わるように、語句や表現を工夫して俳句を創作している。 【態】進んで表現のしかたなどを評価し、学習課題に沿って鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。
6月	言葉の釣り糸を垂らす	【知・技】文章中の語句・表現から、印象に残ったものや、よいと思ったものを挙げ、その理由や効果について考えている。 【思・判・表】筆者の「書く」ことに対する考えについて、自分の記憶や経験を踏まえながら考えている。 【態】筆者のものの見方や考え方を積極的に読み取り、学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。
7月	言葉2 和語・漢語・外来語 語彙を豊かに 時代や世代による言葉の変化	【知・技】和語・漢語・外来語について理解し、相手や場面に応じて適切に使い分けている。古典や近代文学、年配の人との会話の例などの中から、自分たちの世代とは異なる言葉の使い方を見つけている。 【態】進んで和語・漢語・外来語を理解し、今までの学習を生かして、相手や場面に応じて適切に使い分けようとしている。また、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて進んで理解し、学習課題に沿って相手や場面に応じた言葉を選んで伝えようとしている。
7月	情報整理のレッスン 情報の信頼性	【知・技】情報の発信日時、発信源、情報を伝える目的などの観点から、情報の信頼性を確認している。 【態】積極的に情報の信頼性の確かめ方を理解し、学習したことを生かして問題に取り組もうとしている。

9月	挨拶 ——原爆の写真によ せて	【知・技】語句の辞書的な意味や語感を踏まえて、文脈の中での意味や効果を考えている。 【思・判・表】詩に用いられている比喩や象徴的な表現の効果について、自分の考えをまとめている。現代社会の状況と重ね合わせながら詩を読み深め、作者の思いや考えに対する自分の考えをまとめている。 【態】詩の構成や表現のしかたを積極的に評価し、学習課題に沿って読み深めた詩について、感じたことや考えたことを伝え合おうとしている。
9月	故郷	【知・技】文学作品を読むことが、自分の人生や自分が生きている社会について深く考えるきっかけとなることに気づいている。 【思・判・表】文章を批判的に読み、観点を明確にして、作品のもつ特性や価値を批評している。「私」が考える「希望」や望む社会の在り方などについてどう考えるか、根拠に基づいて自分の意見を述べている。 【態】文章を批判的に読むことに積極的に取り組み、今までの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。
9月	[推敲]論理の展開を 整える	【知・技】「事実と意見」「意見と根拠」「具体と抽象」など情報と情報との関係に着目しながら、課題に取り組んでいる。 【思・判・表】目的や意図に応じた表現になっているかを確かめて、文章を推敲している。論理の展開について、読み手からの助言を踏まえて自分の文章のよい点や改善点を確かめ、必要に応じて整えている。 【態】目的や意図に応じた表現になっているかを粘り強く確認して推敲し、読み手からの助言や、情報と情報との関係についての知識を生かして、書き改めようとしている。
9月	言葉3 慣用句・ことわざ・故 事成語	【知・技】慣用句を使って短文を作ったり、ことわざや故事成語の意味や使い方を調べたりしている。 【態】慣用句やことわざ、故事成語の意味や使い方について積極的に調べて理解し、今までの学習を生かして短文を作ろうとしている。
10月	聞き上手になろう 質問で相手の思いに 迫る	【知・技】対談の話し手や聞き手として、適切な言葉遣いを選択している。 【思・判・表】話の展開を予測しながら聞き、対談の中で、相手の思いに迫ることができた質問や話を豊かに展開させた応答は、どのようなものだったか捉えている。 【態】話の展開を予測しながら積極的に聞き、今までの学習を生かして対談しようとしている。
10月	漢字2 漢字の造語力	【知・技】漢字の造語力を意識しながら、漢字の意味を理解し、読んだり書いたりしている。 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
10月	複数の意見を読んで、 考えよう ——正解が一つに決 まらない課題と向き 合う	【知・技】一つの課題に対して書かれた複数の文章を読み比べることが、自分の生きている社会について深く考えるきっかけとなることに気づいている。 【思・判・表】観点を決めて文章を比較したり、自分の知識や経験と照合したりしながら批判的に読み、筆者のものの見方や考え方について考えている。提言の内容、論理の展開、表現のしかたなどについて、自分の知識や経験と結び付けたり、討論したりして、評価している。 【態】三つの文章を批判的に読むことに粘り強く取り組み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。
10月	考えを効果的に伝え よう 多角的に分析して批 評文を書く	【知・技】「意見と根拠」「具体と抽象」など、情報と情報との関係に関する知識を生かして論理の展開を考えている。 【思・判・表】文体や表現技法などを検討したり、自分の意見を支える根拠となる資料を引用したりして、文章表現を工夫している。読み手からの助言を踏まえて、自分の批評文における批評の観点や表現、論理の展開などのよい点や改善点を見いだしている。 【態】自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように、粘り強く工夫し、学習の見通しをもって批評文を書こうとしている。
10月	漢字に親しもう3	【知・技】文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。 【態】今までに学習した知識を生かして、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
10月	文法への扉2 「ない」の違いがわか らない？ 文法2 文法のまとめ	【知・技】言葉の単位、文の組み立て、単語の分類、自立語、用言の活用、付属語など、3年間で学習した文法の内容を理解している。 【態】単語の類別や活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応について進んで理解し、今までの学習を生かして課題に取り組もうとしている。
10月	初恋	【知・技】語句や表現に着目したり、言葉の響きやリズムを味わったりしながら詩に描かれた情景や心情を想像している。 【態】進んで語感を磨き、今までの学習を生かして作品を読んだり自分の考えを述べたりしようとしている。
11月	和歌の世界 音読を楽しむ 古今和歌集 仮名序	【知・技】「和歌の世界」と「古今和歌集 仮名序」を読み、三つの歌集の特徴や歴史的背景、和歌に対する古人の思いを捉えている。 【態】進んで古典の世界に親しみ、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
11月	君待つと ——万葉・古今・新古 今	【知・技】三つの歌集の歌を音読したり、比較したりして、そこに詠まれた情景や心情を想像している。自分が注目した表現を引用しながら、和歌を評価している。 【思・判・表】三つの歌集に収められた和歌を比較し、特徴的な表現やその効果について、評価している。 【態】進んで和歌の表現のしかたについて評価し、学習の見通しをもって自分の評価を書こうとしている。
11月	夏草 ——「おくのほそ道」 から	【知・技】歴史的背景に注意して作品を読み、作者が何に感動したのかを理解している。心に響いた俳句やその一節を引用し、その理由などを発表している。 【思・判・表】現代の価値観と比較したり、作者が感動した歴史的背景を確かめたりして、作者のものの見方や感じ方について考えている。 【態】作者のものの見方や感じ方について進んで自分の意見をもち、今までの学習を生かして発表しようとしている。
11月	つながる古典 古典名作選 [書<]古典の言葉を	【知・技】古典の名作の歴史的背景や後世への影響を知り、その一節を読んでいる。古典の言葉を引用して、メッセージを書いている。 【思・判・表】自分の思いを表現するのにふさわしい文章の種類を選び、相手の状況を踏まえて構成を工夫してメッセ

	引用し、メッセージを贈ろう	ーじを書いている。 【態】長く親しまれている言葉や古典の一節を進んで引用するなどし、今までの学習を生かしてメッセージを書こうとしている。
11月	それでも、言葉を	【知・技】抽象的な概念を表す語句について、言葉の意味を辞書などで確かめたり、具体的な事例を挙げたりしながら理解している。 【思・判・表】文章を多角的に検討したり、例証や反証を試みたりして、筆者の考えについて理解を深めている。文章を批判的に読んだり話し合ったりすることを通して、言葉に対する自分の意見を確立している。 【態】言葉や社会、人間などについて粘り強く自分の意見をまとめ、今までの学習を生かして理解したことや考えたことについて話し合ったり発表したりしようとしている。
12月	漢字3 漢字のまとめ 漢字に親しもう4	【知・技】漢字の組み立てと部首、音訓、成り立ち、熟語の構成、同じ訓・同じ音をもつ漢字、送り仮名、熟語の読み方、漢字の造語力など、3年間で学習した漢字の内容を理解している。 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
12月	話し合いを効果的に 進めよう	【知・技】抽象化の技能を生かし、複数の発言の共通点を抽出し、結び付けてまとめている。 【思・判・表】合意形成に向けた話し合いを効果的に進行するための工夫について考えている。 【態】積極的に進行の工夫とその効果を分析し、今までの学習を生かして話し合いの効果的な進め方について考えようとしている。
12月	合意形成に向けて話し 合おう 課題解決のために会議 を開く	【知・技】提案の根拠に着目して妥当性を吟味したり、複数の発言の共通点を基に抽象化してまとめたりしている。 【思・判・表】合意形成に向けて納得できる結論を出すために、提案の意義や実現性を検討したり、互いの発言を生かしたりして話し合っている。 【態】合意形成に向けて粘り強く考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって話し合おうとしている。
1月	温かいスープ	【知・技】文章に表現された人と人との関係を通して、国際性とは何かを読み取ったり、読書が自分の生き方や社会について考えるきっかけとなることに気づいたりしている。 【思・判・表】自分の考え方と作品に表現された考え方を比較して、「国際性」とは何かについて、自分の考えをまとめている。 【態】人間、社会などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。
1月	アラスカとの出会い	【知・技】筆者の人生において、本との出会いがどのような意味をもっていたのかを読み取ったり、読書が自分の生き方や社会について考えるきっかけとなることに気づいたりしている。 【思・判・表】文章から読み取った筆者のものの見方・考え方や、友達との交流を受けて、自分の生き方について考えをまとめている。 【態】人間、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。
1月	律儀な桜	【知・技】桜を巡る筆者の経験や考えを読み取ったり、読書が人と自然について考えるきっかけとなることに気づいたりしている。 【思・判・表】自分の知識や経験と結び付けながら文章を読み、人と自然に対する自分の考えをもっている。 【態】人間、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習や経験を生かして文章にまとめようとしている。
2月	わたしを束ねないで	【知・技】選ばれた言葉の語感を基に、作者が詩に託したイメージを捉えている。 【思・判・表】詩に描かれた情景や作者の思いを想像しながら、社会と人間、自分の可能性について考えている。 【態】詩を読んで、進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。
2月	初日	【知・技】選ばれた言葉の語感を基に、作者が詩に託したイメージを捉えている。 【思・判・表】詩に描かれた情景や作者の思いを想像しながら、人間、社会、自然などについて考えている。 【態】詩を読んで、進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の内容について話し合おうとしている。
2月	漢字に親しもう5	【知・技】音訓や部首、熟語の構成などに気をつけて、これまでに学習した漢字を読んだり書いたりしている。 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
3月	国語の力試し	【知・技】ことわざや故事成語、四字熟語の意味や使い方を正しく理解している。歴史的仮名遣いに注意して和歌を読み、解釈しながら、親しんでいる。 【思・判・表】回想場面を織り込んだ展開のしかたとその効果について捉えている。文章に表れている筆者の言葉に対する見方や考え方について、自分の考えをもっている。話し合いの内容を分析し、それぞれの発言がどのような役割を果たしているか、捉えている。意見と根拠、それらを結び付ける無理のない理由づけを示して、考えをまとめている。ポスター作りの目的を意識しながら、資料の特徴をまとめている。 【態】粘り強く文章や資料を読み取り、今までの学習を生かしてそれぞれの学習課題に取り組もうとしている。

*書写は以下の内容を取り扱います。(硬筆・毛筆)

7月 12月	全国文字マップ 文字の使い分け 私の好きな言葉 3年間のまとめ
-----------	--